

4. 介護ロボットおよび介護支援機器・福祉用具の使用法（手順チェックリスト）

4) 自立支援型移乗補助具

(2) 自立支援型移乗補助具の使用手順および注意事項

①ラ・クリップの使用手順（チェックリスト）

⑦左片まひの利用者の車いすからベッドへの移乗（臥床まで）

	手順	留意点や手順のねらい
使用前の点検	④ 使用物品（ベッド、車いすのブレーキ）の点検をしておく。 ⑤ ラ・クリップの点検（ネジがゆるんでいないか、パイプに傷などはないか）。 ⑥ ラ・クリップとベッドの位置の確認	・ベッドの高さは40cm程度に調整 ・真上から見て、ラ・クリップのベースがベッドの下に隠れるよう挿入されているか（ベースの端がベッドから出ないように設置する）。
介助開始時のコミュニケーション	① 利用者にあいさつをする。	
	② これから行うことについての説明を行い、同意を得る。	
	③ 利用者の体調を確認する。	
移乗の準備	④ 車いすをベッドおよびラ・クリップに近づける（利用者が自走できるときは、見守る。利用者が一人で位置調整が難しい場合は介助する）	ベッドに対して15～30度程度の角度で、ラ・クリップのパイプに上肢が届く位置で車いすを止める
移乗	⑤ フットサポートから足をおろし、フットサポートを立てる ⑥ 患側の足を利用者が自分で降ろせない時は、介助する	移乗時に下腿や足首にフットサポートがあたり、皮膚損傷等が起きないように、車いすの位置を再度確認する
	⑥ 健側上肢でラ・クリップのパイプもしくは車椅子のアームサポートにつかまり、浅く座りなおす	患側の足底が床についているか、確認する。 ついていない場合は、健側に身体を傾けて、介助者が患側の臀部及び下肢を引き出す
	⑦ ラ・クリップの手前のパイプをつかんで、体を引き寄せするように、ゆっくりと立ち上がっていただく	起立後、ふらつきやめまいがないか確認する
	⑧ ラ・クリップを健側上肢でつかんだまま、上体をラ・クリップにもたれかける	・左右に倒れて行かないか、もたれ立位が安定しているか、よく観察する ・安定しない場合は、介助者が利用者の腸骨に手を当て姿勢を支える
	⑨ 健側下肢に体重をかけて軸足にし、臀部がベッドに向くように身体を回旋させる。	・この健側上肢の肘を下方のパイプに押し当てるようにすると、姿勢が安定する ・身体の回旋に、患側下肢が運動しないようであれば、介助者は患側下肢の回旋を補助する
	⑩ 健側上肢の手でパイプをつかみ、肘をパイプに当て、ゆっくりと腰を下ろす	・両足の足底が床につき、安定した端座位姿勢であるか、確認する。 ・浅い場合は、深く座るように声かけや介助を行う
	⑪ 靴をぬぐ。患側は介助する	



臥床	⑫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下方のパイプに持ち替え、頭を枕の方にゆっくりと倒していく ・ 同時に足を挙げてベッドに乗せるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健側でパイプを把持する力が弱く、上半身が勢いよく倒れ込んでいく場合は、介助者の上肢を利用者の健側の肩の上から頭部を支えるように回して支えるようにする ・ 下肢がベッドに挙がりきらない場合は、介助する
	⑬	<ul style="list-style-type: none"> ラ・クリップをつかんだ健側上肢と、健側下肢力を活用しながら、仰臥位になり、ベッドの真ん中に位置するよう姿勢を整える 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が一人で身体を動かすことが難しいければ、手伝う
臥床後の安全、安楽の確認	⑭	利用者の姿勢や衣服にゆがみ、ひねりがないか確認する	
	⑮	利用者自身に苦痛や体調の悪化がないか確認する	

